

令和6（2024）年5月9日
独立行政法人都市再生機構

福島被災地域の復興支援を考える学生向け現地ツアー参加者募集 ～ツアー8月開催 プレイベント6月開催～

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、福島県浜通りの原子力災害被災地域で復興に携わる方々と出会い、フィールドワーク等を行う、学生向けのスタディツアー（以下「スタディツアー」）とプレイベントを『キモチ、あつまるプロジェクト 2024』と題して昨年度に引き続き実施します。

福島県浜通りの原子力災害被災地域では、徐々に避難指示が解除され人が戻りつつあります。しかし、長期間にわたる避難生活を背景に町が目標とする人口になかなか戻らないこと等が課題となっています。

これらの課題解決に向け、UR都市機構は復興拠点整備等のハード整備だけではなく、交流人口・関係人口の創出・拡大や中心部の賑わい・交流づくりに向けて、地域プレイヤーの発掘・連携、関係者を巻き込みながらの実証活動を軸に、ソフト支援にも取り組んでいます。

本企画は、その一環として行うもので、今回のスタディツアーは3泊4日と前回より1日長い日程とし、現地で復興に取り組む方々との交流の場を多く設けることで、これからの未来を歩む世代が被災地域のことを知り、復興に関心を持ち、行動してもらおうきっかけづくりとなることを目指します。

（前回スタディツアーの様子）



大川原地区(大熊町)



ワークショップ(双葉町)



浪江駅周辺地区(浪江町)

スタディツアー概要

- 日程:2024年8月28日(水)～8月31日(土)(3泊4日)
- 旅行代金:0円 ※詳しくは公式サイトをご確認ください。
- 募集人数:25名 ※申込みが募集人数を超えた場合には事務局にて参加者を選定させていただきます。
- 参加資格:学生(18歳以上。大学のほか大学院、専門学校等の学生を含む。その他の詳細は公式サイトをご確認ください。) ※このほかスタディツアーへの参加には、プレイベントへの参加又は視聴(アーカイブ視聴を含む)等の条件があります。詳しくは公式サイトをご確認ください。
- 申込期間:2024年5月9日(木)～6月30日(日)
- 申込方法:公式サイトからお申込みください。 <https://www.asahi.com/ads/kimochi-atsumaru2024/>
- 訪問先・滞在先:福島県大熊町・双葉町・浪江町
- プログラム内容(予定):地域で復興に携わる方々との座談会・交流会
UR都市機構が行う復興まちづくり支援の現地フィールドワーク
復興へ向けたワークショップ など
- 旅行企画・実施:グローバルエージェント株式会社(神奈川県知事登録第3種 1015)



イベント概要

スタディツアーに先立ち、イベントとして当該ツアーの企画内容のご紹介や地域で復興に携わる方々のパネルトークを開催します。(詳細は別紙をご覧ください。)

●日時:2024年6月1日(土) 午後1時30分~3時00分/4時20分(会場で座談会まで参加の場合)

●開催方法:1、2のいずれかでご参加が可能です。

1.会場参加※₁ 2.Live配信視聴(Zoom)※₂

※₁ 朝日新聞社東京本社2階「読者ホール」(東京都中央区築地5-3-2)

※₂ 後日アーカイブ配信でもご覧いただけます。

●参加費:無料 ※視聴のための通信費や会場までの交通費等は参加者にてご負担ください。

●申込方法:公式サイトからお申込みください。<https://www.asahi.com/ads/kimochi-atsumaru2024/>



●申込期間:2024年5月9日(木)~2024年5月30日(木) ※会場参加申込みは5月24日(金)まで

●内容:スタディツアーの紹介、地域で復興に携わる方々のパネルトーク など

※スタディツアーやイベントの内容は変更となる場合があります。更新情報は公式サイトで随時ご案内します。

(前回スタディツアーのイベントの様子)



全国への配信に加え都内ではLiveビューイングを実施



Liveビューイング後は座談会・交流会を開催

(お問い合わせ先) ※12/29~1/3及び土日祝日を除く 10:00~16:00

■スタディツアーに関するお問合せ先(事務局)

朝日新聞社メディア事業本部アカウントソリューション5部 木内(きうち)(電話)03-5540-7743

UR都市機構 災害対応支援部 企画課 上片平(かみかたひら) (電話)045-650-0380

■報道関係の方からのお問合せ先

UR都市機構 災害対応支援部 企画課 佐藤(さとう) (電話)045-650-0871

広報室 広報課 (電話)045-650-0887

<参考>URが行う原子力災害被災地域における復興まちづくり支援

●支援3町における主な取組み

■大熊町

- ・下野上地区の復興拠点整備(町から受託)
- ・地域活動拠点「KUMA・PRE」をフィールドとする関係人口の拡大やまちの活性化に向けた各種実証の取組み



■双葉町

- ・双葉駅西側地区の復興拠点整備(町から受託)
- ・双葉駅東エリアにおける既存ストック活用による賑わい再生に向けた取組み



■浪江町

- ・浪江駅周辺地区の復興拠点整備(町から受託)
- ・情報発信・交流スペース「なみいえ」の運営や地域イベント等への参加・協力



●復興支援地図



※復興まちづくり支援の具体的内容は、

下記 URL をご参照ください。

<https://www.ur-net.go.jp/saigai/index.html>



【UR 都市機構】

UR 都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955 年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>





福島被災地域の復興支援を考える学生向け現地スタディツアー

【イベントの開催について】

- 日時：2024年6月1日（土） 午後1時30分～3時00分/午後4時20分（会場で座談会まで参加の場合）
- 参加資格：学生（18歳以上の4年制大学の在学生のほか大学院生、専門学校生等）
- 申込方法：公式サイトからお申込みください。 <https://www.asahi.com/ads/kimochi-atsumaru2024/>
- 参加方法：①会場参加 開催場所：株式会社朝日新聞社東京本社2階「読者ホール」
 ※東京都中央区築地5-3-2 都営地下鉄大江戸線築地市場駅「A2」出口すぐ
 申込定員：30名程度
 申込期間：2024年5月9日（木）～2024年5月24日（金）
 ※申込みが定員を超えた場合には抽選とし、5月27日（月）までに結果をご案内。
- ②Live 配信視聴 配信方法：Zoom（ズーム） ※後日アーカイブ配信でもご覧いただけます。
 申込期間：2024年5月9日（木）～2024年5月30日（木）



<タイムテーブル> ※途中休憩あり (以下、敬称略)

1	開会挨拶	UR 都市機構 災害対応支援部 企画課 佐藤
2	講演 ・ パネルトーク (55分)	<p>司会進行 今村 尚徳(朝日新聞社 朝日新聞 DIALOG 編集長)</p>  <p>■朝日新聞 DIALOG 日本の未来を語ろう」をコンセプトにした、若い世代で未来を考えるコミュニティー&メディア。 テクノロジーの進化、グローバリズム、人口減少。大きな変化の中、社会課題に高い関心を持つ若い世代を中心に、立場や肩書を超えた対話を生み出します。</p> <p>●講演 UR 都市機構が行う「地域再生支援」とは？ ～原子力災害被災地域におけるソフト面からのまちづくり支援～ 島田 優一(UR 都市機構 東北震災復興支援本部 地域再生課)</p> <p>●パネルトーク テーマ「キモチここに、福島への想い」 川上 友聖(toten.共同代表) 島田 優一(UR 都市機構 東北震災復興支援本部 地域再生課) 今村 尚徳(朝日新聞社 朝日新聞 DIALOG 編集長)</p> <p>■川上 友聖</p>  <p>2001年生まれ。横浜市出身。立命館大学産業社会学部を経て、東京大学大学院情報学環教育部に進学。toten.では、福島県双葉町と大熊町を拠点に地域性やコンテキストを重視した企画設計やアドバイザー、地域ブランディングに取り組む。GOOD DESIGN NEW HOPE AWARD2022 情報のデザイン部門入賞。</p>
3	スタディツアーのご紹介(15分)	スタディツアーの目的、行程概要、行程中の諸注意などのほか、当該ツアーでの学びのポイントや復興の現場での見るべき視点等を解説します。
4	質疑・意見交換 (10分)	
5	座談会 (60分)	(以下、会場参加の方のみ) 講演者等と直接に意見交換し、また参加者同士での繋がりを広げてもらうための座談会を設けます。
6	閉会挨拶	UR 都市機構 災害対応支援部 企画課 佐藤

●備考

- ・プレイバントにはスタディツアーにお申込みされない方もご参加可能です。
- ・配信視聴は上記1から4までとなります。
- ・スタディツアーへご参加いただくには、プレイバントへの参加又は視聴（アーカイブ視聴を含む）が必要となりますが、当該視聴方法等がスタディツアー参加者の選定に影響することはありません。
- ・途中参加は可能です。ただし座談会からのご参加はご遠慮ください。
- ・当日の会場の様子は録画、撮影等を行い、UR都市機構の広報等で使用する場合があります。
- ・実際の内容は変更となる場合があります。詳細は公式サイト/SNS等で随時ご案内します。
- ・会場への直接のお問合せはご遠慮願います。ご不明点は事務局へお問合せください。

以 上